

是川縄文館は

7月10日に開館10周年を迎えます

八戸市の埋蔵文化財センターとして平成23年7月10日に開館した是川縄文館は、7月10日に10周年を迎えます。これまでの歩みを振り返るとともに、新たな節目に向けて、遺跡や縄文の魅力発信し、皆さんに楽しんでいただける活動を行っていきます。



10周年記念企画① 記念イベントを開催します ※全て要申込

\ 7月10日(土)は無料開放!先着で、いのるんグッズをプレゼント! /

7月10日(土)	10時~11時	●内容学芸員とまわる是川縄文館バックヤードツアー ●定員20人
	14時~16時	●内容開館10周年記念講演「皆で考えよう縄文文化の価値-是川遺跡を中心に-」●講師 <small>おかむらみちお</small> 岡村道雄(奈良文化財研究所)●定員50人
7月11日(日)	10時~11時	●内容学芸員とまわる是川縄文館バックヤードツアー ●定員20人
	14時~15時30分	●内容学芸員とまわる是川遺跡ツアー●定員20人

発掘調査



調査件数

502件

調査面積

11万5千㎡

体験学習講座



127回

ガイド研修会



138回

考古学講座



84回

是川縄文館では常設展示のほか、企画展示や考古学講座、縄文体験講座、東京大学や弘前大学との共同研究を通じて、八戸の縄文の魅力発信してきました。また、発掘調査を行い、昔の人びとのくらしを遺跡から明らかにしています。

今回は是川縄文館の10年間の歩みについて数字や写真で振り返っていきます。

数字で振り返る10年間のあゆみ

是川縄文館開館10周年記念特別展「是川遺跡」

[7月10日(土)～9月5日(日) 会期中の休館日:7/12(月)、8/23(月)]

是川遺跡は古くから発掘調査が行われ、工芸性に富んだ漆製品や木製品など、当時の縄文時代のイメージを大きく変える発見がありました。是川縄文館はこれまで、共同研究や展覧会などを通して、是川遺跡の調査を進めてきました。本展では、過去10年間の研究成果から是川縄文人の暮らしを紹介するとともに、是川遺跡を同時代の海外で営まれた文化と比較しながら、是川の縄文文化の特色を探ります。

展示資料

是川遺跡(一王寺遺跡・堀田遺跡・中居遺跡)出土資料 ほか

土偶

是川一王寺遺跡
縄文時代中期
(約5000年前)



重要文化財 籃胎漆器

樹皮を編んでつくったカゴに漆を塗って仕上げたもの
是川中居遺跡 縄文時代晩期
(約3000年前)



重要文化財 石斧の柄

先端に磨製石斧をくくりつけ、木の伐採などに使った
是川中居遺跡 縄文時代晩期(約3000年前)

併催イベント

※新型コロナウイルス感染症の流行状況により、内容を変更する場合があります。

特別展 ギャラリートーク

- 日時 会期中の毎週(土)14時～
※7/10、8/28は、10時～
※申込不要、要入館料

特別展 考古学講座 要申込

- 日時 8/28(土)14時～16時
- 会場 1階 体験交流室
- 演題 東アジアのなかの是川石器時代遺跡、そして世界文化遺産へ
- 講師 水ノ江和同(同志社大学文学部)

埋蔵文化財センター是川縄文館 38-9511 是川字横山1 9:00～17:00(入館は16:30まで)

【観覧料】一般300円、大・高校生150円、中・小学生50円(団体料金あり)※市内の小・中学生は無料。市内65歳以上、障害者手帳をお持ちの人と同伴者1人は半額

累計来館者数

平成23年(2011)7月10日 開館

平成26年(2014)	来館者10万人
平成30年(2018)	来館者20万人
令和2年度末(2020)	来館者27万人超



令和元年10月来館者25万人達成した当時の様子(HPより)

企画展示



34回

企画展示(観覧者数)ベスト5

1	八戸の埋蔵文化財 (平成23年夏)	19,245人
2	発掘された日本列島2012 (平成24年夏)	7,723人
3	発掘された日本列島2017 (平成29年夏)	7,600人
4	縄文至宝展 (平成23年秋)	7,509人
5	北の縄文世界(令和元年夏)	7,055人

これからも、埋蔵文化財の素晴らしさも伝えられるよう、日々努めていくん!
よろしくお願いしますん!

